

～2023年を迎えて～



小牧市長 山下 史守朗

今年こそコロナ禍を克服し、
市民の笑顔あふれる日常を取り戻す年に

明けましておめでとうございます。皆様におかれましては、輝かしい令和5年の幕開けをお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、全国的に新型コロナウイルス感染症の流行が繰り返されましたが、年後半には、市民まつりなどの行事が少しずつ再開できるようになり、コロナ禍の終息に向けて希望を感じるころです。

さて、小牧市は、尾張地域で初めて内閣府から選定された「SDGs 未来都市」として、市内企業・市民団体からSDGsや社会について学ぶ「こまきこども未来大学」をスタートするなど、コロナ禍の中ではありますが、SDGsの取組を着実に進めています。引き続き、持続可能で多様性と包摂性のある小牧市の実現に向けて、今後様々な分野において取組を推進

してまいります。

未来につながるまちづくりにつきましては、中心市街地活性化の再スタートとして「中心市街地グランドデザイン」を策定するとともに、小牧駅西側に芝生公園を整備し、「中央図書館」や「こども未来館」と相まって、にぎわいと憩いが同居する駅西広場となりました。

また、高齢化が進む東部地域において夢と希望をもってまちづくりを進めるため「東部振興構想」を策定するとともに、市民・関係者がつながる場となる「東部まちづくりプラットフォーム」を構築し、各種ワークショップの開催やPR動画の作成などをスタートしました。

明けて本年は、尾張徳川家の上街道整備によって現在の小牧のまちの基礎となる「小牧宿」が置かれてから400年にあたる記念すべき年で

あり、また今年のNHK大河ドラマ『どうする家康』で「小牧・長久手の戦い」の舞台となった小牧山城が取り上げられることもあり、今春には小牧山山頂の歴史館の展示を全面的にリニューアルいたします。

引き続き、様々な取組を着実に実行し、3つの都市ヴィジョン「こども夢・チャレンジNo.1都市」、「健康・支え合い循環都市」、「魅力・活力創造都市」の実現に全力を尽くしてまいります。

コロナ禍を乗り越え、本年が市民の笑顔あふれる日常を取り戻すことができる明るい年になりますよう、心から願っています。

なにとぞ本年も、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。ご健勝ご多幸をお祈りいたしまして、新年のごあいさつといたします。

新春のご挨拶



小牧市議会議長 澤田 勝巳

皆様の声に耳を傾け、ともに歩む

より身近な議会へ

明けましておめでとうございませす。市民の皆様には、輝かしい令和5年の新春を健やかに迎えたいことと謹んでお慶び申し上げます。

今年、4年に一度の改選に伴い、私も第18期の小牧市議会議員にとって最後の年となります。新年を迎えるにあたり、これまでの市議会に対するご支援に心から感謝申し上げます。残された任期を、皆様の負託に十分応えられよう、議員一同精一杯努力を続けてまいります。

さて、長く続いている新型コロナウイルス感染症の影響等により停滞している経済活動も、回復の兆しがある一方、急速な円安とインフレなどが、不安定な経済状況を引き起こし、市民生活への影響

も目が離せない状況が続いております。

こうした状況の中、市民の皆様が安心して生活するためのやさしさと豊かさ、創意工夫と迅速さを意識したまちづくりが、今まさに求められていると感じております。

そして、それらを実現していくためには、市民の皆様と行政が知恵と力を出し合い、様々な場面で市民の皆様にご参加いただき、さらには市民の皆様との連携と協働を十分に踏まえたよりよいまちづくりの実現を進めていかなければなりません。市民一人ひとりが、住んでよかったと実感できる安心、安全な暮らしには何が必要か、皆様の声をぜひ私たちに聞かせてください。

私も市議会も、広報紙『議会

だより』において、各議員の一般質問の掲載欄にQRコードを貼り付け、それを読み込むことで、本会議での質問の様子を視聴できるようにいたしました。そして、本会議のライブ配信をYouTubeに変更し、より見やすくするなど、様々な手段と工夫を凝らす事で、より身近な議会となるよう日々努力しております。市民の皆様との対話を深め、小さな声にも耳を傾け、市民と行政のパイプ役となり、皆様とともに、地域の課題解決に努めてまいりますので、今後とも、さらなるご支援、ご協力を賜わりますようお願い申し上げます。

どうぞ本年が、皆様にとりまして、明るく希望に満ちた年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

